

第3回 揖斐川水源地域ビジョン推進協議会

日時：平成22年8月10日（火）13:30～15:30

場所：揖斐川町中央公民館 会議室

議 事 次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

(1) 第2回推進協議会の議事概要について

(2) H21年度の活動報告について

(3) H22年度の活動予定について

(4) 各団体ごとの今後の取組について

(5) その他（中部電力徳山水力発電所について）

4 閉 会

第3回 揖斐川水源地域ビジョン推進協議会

【配布資料一覧】

資料 1 第2回推進協議会の議事概要

資料 2 H21年度 生命の水と森の活動センターの活動報告

資料 3 H21年度 ビジョンの取組報告

(3-1) 徳山ダムの活動報告 (徳山ダム管理所)

(3-2) 平成21年度 水の週間施設見学会 開催報告

(水資源機構中部支社)

(3-3) 平成21年度 木曾三川水源林保全体験の実施状況

(名古屋市上下水道局)

資料 4 H22年度 生命の水と森の活動センターの活動予定

資料 5 H22年度 ビジョンの取組報告

(5-1) 徳山ダムの活動予定 (徳山ダム管理所)

(5-2) 横山ダム < 2010 森と湖に親しむ旬間 >

(横山ダム管理所)

資料 6 各団体ごとの今後の取組について

参考資料 揖斐川水源地域ビジョン推進協議会 規約

別 紙 揖斐川水源地域ビジョン リーフレット「生命の水と森の物語」

第2回 揖斐川水源地域ビジョン推進協議会 議事要旨（案）

日 時：平成21年8月4日（火）13:30～15:00

場 所：揖斐川町中央公民館 会議室

1. 開会

2. 挨拶（揖斐川町長）

3. 報告およびその審議結果等

(1) 平成20年度の活動報告について

【中核プロジェクト活動（生命(いのち)の水と森の活動センター実施）】

- ① 生命(いのち)の水と森の活動センターの活動実績として、①水源地の自然環境保全事業、②自然環境保全教育・研修事業、③水源地を活用した調査・研究協力事業、④治水・利水及び水源地の環境保全の重要性普及啓発事業、⑤自然を活用した水源地域の活性化事業、⑥情報収集・発信事業を柱とする計24活動が実施されたこと、これらによりH20年度の「水と森の学習館」利用者が5,932名に達したことについて事務局（生命の水と森の活動センター）から報告があった。

【中核プロジェクト以外の活動（活動センター実施以外のビジョン活動）】

- ② 平成20年8月1日に岐阜県と水資源機構が主催した「水の週間施設見学会」がガールスカウト岐阜県第8団他34名の参加を得て実施されたことについて、事務局（水資源機構中部支社）から報告があった。
- ③ 「横山ダム2009 森と湖に親しむ旬間」の活動として、平成20年7月21日～31日にダム見学者等計430名の参加を得て、横山ダム堤体内部等を利用した活動（ハンドベルの音響を楽しむ、写真展、大声コンテスト）、流木を活用した工作、魚の放流などが実施されたことについて、横山ダムから報告があった。
- ④ 「木曾三川水源林保全体験」の活動として、平成20年8月27日に揖斐川町（社）木曾三川水源公社の分収造林地にて名古屋市上水道給水区域の小学生とその保護者計29名による間伐作業体験が実施されたことについて、主催者である名古屋市上下水道局から報告があった。
- ⑤ 徳山湖の流木塵芥除去と水質監視、実のなる木を植えよう大作戦などの活動が実施されたことについて、事務局（水資源機構徳山ダム管理所）から報告があった。
- ⑥ 広報パンフレット「自然にこだわる揖斐の旅」が作成されたことについて揖斐川町商工会から報告があった。

(2) 平成21年度の活動予定について

平成21年度における生命の水と森の活動センターの事業計画（案）の説明が事務局からあり、事務局案どおり承認された。

(3) その他

本推進協議会を構成する各機関は、水源林の大切さの理解、自然との共生、上下流交流などを観点に、他事例も参考にしながら、種々活動にできる限りの協力をしていく。

4. 閉会

以上

いのち
平成 21 年度生命の水と森の活動センター事業実績書

(平成 22 年 3 月 31 日現在 ● 実施日)

【 事業の概要 】

1 水源地の自然環境保全事業

(1) 水環境の保全事業

① 徳山ダム上流域保全利用協議会

内容：関係機関と連携を図り、情報を共有し、効率的かつ迅速な水源地の保全・徳山湖の適正利用を図るため協議会開催の支援をした。

開催回数等：3 回開催実施（協議会 1 回・幹事会各 2 回）

「設立：H21.7.28 ● 幹事会 9 / 29、12 / 17」

② 水源地域清掃活動

内容：NPO 揖斐自然環境レンジャーなど団体や流域住民と協働して、揖斐川上流域の清掃活動を実施した。

実施回数等：清掃活動 5 回

- ・ 揖斐川流域クリーン大作戦 「● 5 / 31 （学習館上流約 3 km 間） 40 名参加」
- ・ 揖斐川上流水源地域清掃・環境パトロール活動 「● 9 / 19 （新川尻橋上流～冠峠約 2.2 km 間 80 名参加）」
- ・ 夜叉ヶ池登山道清掃活動 「● イビデン取水堤～夜叉ヶ池まで約 1.2 km 間 58 名参加」
- ・ 門入清掃活動 「● 9 / 15～16、20～21 活動「ホハレ峠～門入地域約 6 km 8 名参加」
- ・ 冠山登山道清掃活動 「● 11 / 9 参加 4 名」

③ 水源地域パトロール活動

内容：揖斐川町と協働して、徳山ダム上流域の植物採掘、廃棄物の不法投棄防止などの環境パトロール活動を実施した。

実施回数等：原則 毎週 2 回（5 月～12 月）

「● 5 / 8～12 / 14 72 回実施 （ゴミ 111kg を回収）」



(揖斐川流域クリーン大作戦)



(環境パトロール)



(揖斐川上流水源地域清掃・パトロール活動)



(夜叉ヶ池登山道清掃活動)

(2) 森林の保全事業

① 広葉樹の植樹、間伐

内容： 荒廃森林、工事跡地などの裸地、人工造林地の不成績林分に広葉樹（郷土産のクリ、トチ、ナラ、ブナなど野生動物の食餌木を主体に）の植栽、保育を実施した。

実施回数等：

◇木の実の採取 「秋に随時」

◇苗木の養成 「随時」

「●4/1～ブナ、コナラ、ミズナラ、オニグルミ、クリ、トチノキ約1,500本養成中」
・植栽・保育（下刈など）各1回（体験活動と併催）

NPO揖斐自然環境レンジャー、ダム管理所などと協働して植樹・下刈活動

「●7/24 下刈（「コア山（H17.19.20 植栽地）・塚地区（H18 植栽地）18名参加

●11/3 実のなる木植樹 81名参加」 ●11/22 実のなる木補植 17名参加



（コア山植栽地下刈）



（塚地区植栽地下刈）



（コア山実のなる木植樹）



（コア山実のなる木補植）

◇水源地域森林調査 随時（植栽場所等森林の現況調査の実施）

「●6/5、6/11、9/15・16、9/20・21」

② 苗木のホームステイ

内容： 水源地の「木の实」を播種して発芽した実のなる木の小苗を、下流域の小学生に預けて育成してもらい、その苗木を秋に水源地域に植栽をしてもらった。

（NPO揖斐自然環境レンジャーと協働）

実施回数等： 3校（春：定植活動、間伐材のプランターBOX作り 秋：植栽活動）

「●苗木定植 4/21北和中、4/23久瀬小、5/12北方小 参加：76名 苗木120本」

●苗木植樹10/7北和中、10/23久瀬小、10/30 北方小 参加102名



(苗木養成中)



(苗木のホームステイ・・・定植作業)



(ホームスイテイ苗木の植樹)



(大型作業船での移動による植樹活動)

③企業と協働した森林づくりの支援

内容：イビデン株式会社、揖斐川町、岐阜県、NPO揖斐自然環境レンジャー、地元住民などが協働で行う、地球環境保全のための「イビデンの森」づくり活動を支援した。

実施回数等：4回（植栽：春、下刈：7月、9月、森林学習10月）

- 「●4/11植栽（約200名参加）、●7/11下刈・歩道整備（約60名参加）
●9/26歩道整備約70名参加 ●10/17森林学習自然観察会48名参加」



(ヤマザクラなど植栽)



(下刈作業)

(3) 自然生態系の保全事業

① 特定外来生物移入防止研修会の開催

内容：外来生物法で定める、特定外来魚の移入防止をみんなで守るための、知識の向上と移入防止の理解を深めるための研修会を実施した。

実施回数等：1回（流域住民、ダム管理関係者など対象 ●：2/18）102名参加

② 観光客などに対するPR活動

内容：特定外来生物移入防止のため、環境パトロール、リーフレット（クリアケース）・HPなどを通じたPR活動を実施した。

実施回数等：随時

「PR活動●4/1～3/31、環境パトロール72回実施 ●5/8～12/14」



外来生物移入防止研修会



環境パトロール活動

2 自然環境保全教育・研修事業

(1) 体験学習事業

① 活動センター主催の体験活動

内容：活動センターが主催する自然体験学習を実施した。

実施回数：17回実施

内訳：森林作業体験 1回（NPO等と協働「●7/24：下刈18名参加
●11/3植樹81名参加」）

炭焼き体験 3回（「●7/20～21 6名参加 ●8/1～2 22名参加
●8/21～22 17名参加」）

森とのふれあい体験

巨樹巡り 2回（●8/22 17名参加、●10/31 9名参加）

水とのふれあい体験

川遊び 1回（●8/23 27名参加）

雪とのふれあい

雪あそび 5回（●1/16,1/23,1/30,2/6,2/13, 参加83名）

ものづくり体験

木エクラフト 1回（●10/11 66名参加）

環境学習

水源地防人セミナー2回（「●11/14～15 161名参加●11/21～22
137名参加」）

ダム機能学習教室1回（揖斐川水源地域見学ツアーと併催「●（8/28 44名参加）」

② 小中学校等体験学習支援

内容：体験学習宿泊施設「ふじはし星の家」利用者等の自然体験学習を支援した。

実施回数等：随時

◇小中学校体験学習支援

「●4/8～11/19 16校 831名（延べ）」

◇スポーツ少年団等団体体験学習支援

「●4/11～2/28 65団体1,758名（延べ）」

【体験状況】



(竹炭焼き体験)



(マイ箸づくり体験)



(登山体験)



(川遊び体験)



(冬の森体験)



(歩くスキー体験)

③登山道標識整備 (花房山)

内容：徳山ダムが一望できる花房山（標高1,190m）・杉原山（標高789m）への登山を小中学校生徒体験学習に組み入れるため調査・標識など整備をした。

実施回数等：随時

「●5/3～6/18 10回」

④体験活動機械器具・施設整備

内容：体験学習等に必要な機械器具（森林作業・野鳥観察・冬の森観察・ものづくり・川の体験などに必要なもの）を整備した。

実施回数等：活動に必要なものを順次整備

「●4/10～12/20作業台、ライフジャケット等購入」



(花房山登山道改修)



(子供用ライフジャケット整備)

⑤体験学習のためのテキスト等整備

内容：体験学習に必要な図書・テキスト・DVDを購入した。

実施回数等：随時

⑥水と森の学習館PR活動

内容：水と森の学習館（徳山ダム資料室）を広く下流域住民に理解を得るため、各種イベントなどに参加して、PR活動を実施した。「揖斐川町と協働」

実施回数等：随時

- 6/4 ぎふプレゼン（名古屋市）、
- 6/7 名古屋水フェア（名古屋市）参加PR
- 6/22～7/15 近隣8市町教育委員会
- ・ 112 小中学校へのPR
- 10/24 名古屋市エコ市参加
- 1/24 上下流交流イベント



(PR活動)

⑦水源地の水の一滴塾活動支援

内容：水源地の水の一滴塾（H19.3 設立 塾頭菅原文太氏）の塾頭・師範に揖斐川水源地域に来て頂き、環境学習活動の実施及び活動の支援をした。

実施回数等：2回（水源地防人セミナー●11/14～15（菅原文太塾頭）

約140名参加●11/21～22（野中晋輔師範）約120名参加）



(水源地の水の一滴塾塾頭菅原文太氏講演)



(水源地の水の一滴塾師範 野中晋輔氏車座トーク)

⑧徳山ダム見学会

内容：団体が「水と森の学習館」、「徳山ダム」でのダム機能・環境保全への取組み
徳山ダム学習等を行う場合の事前・現地説明の支援をした。
実施回数等：随時（事前申込団体対象）

●徳山ダム現地見学案内者数（3 / 31 現在）

4月 12 団体	3 5 1 名（男：134 名 女：217 名）
5月 2 7 団体	7 8 8 名（男：355 名 女：433 名）
6月 3 2 団体	1, 0 3 2 名（男：472 名 女：560 名）
7月 3 0 団体	9 1 9 名（男：407 名 女：512 名）
8月 1 4 団体	5 8 0 名（男：298 名 女：282 名）
9月 1 2 団体	3 6 0 名（男：174 名 女：186 名）
10月 5 0 団体	1, 8 3 9 名（男：748 名 女：1,091 名）
11月 6 1 団体	2, 4 6 9 名（男：1,129 名 女：1,340 名）
12月 2 団体	3 7 名（男： 14 名 女： 23 名）
1月 0 団体	0 名（男： 0 名 女： 0 名）
2月 4 団体	6 6 名（男： 65 名 女： 1 名）
3月 3 団体	7 5 名（男： 29 名 女： 46 名）
累計 247 団体	8, 5 1 6 名（男：3,825 名 女：4,691 名）



（徳山ダム見学案内）

⑨エコツアー現地調査

内容：豊かな自然環境と地域資源の活用による「学びの場」の環境づくりのため、源流の溪流や天然林をガイド付きで案内する「いび川徳山源流の森観察ツアー」の実現に向けて、調査・検討を実施した。「揖斐川町と協働」

実施回数等：随時（23年に試行を目標に調査・検討の実施）

「●6 / 5 日研究会設立、6 / 11、9 / 15、16、9 / 20、21 源流の森現地調査」

「●9 / 22 いび川徳山源流の森観察ツアー仮試行 小学生・指導者 35名参加」



（観察ツアー現地調査）



（源流の森観察ツアー仮試行）

(2) 研修促進事業

■広く三県一市の経済界を含めた諸団体との連携のもと、豊かな自然景観を活用して、環境・水・森を軸に据えた研修の場としての活用を促進した。

■取り組み内容

◇企業等の活用促進調査

・企業等訪問調査

内容：徳山ダムを核とした豊かな自然環境を活用して、環境・水・森を軸とした企業研修を促進するための調査・検討を実施した。

実施回数等：随時（研修の場としての活用を推進するためカリキュラム・実態調査・PR）

（●4 / 5、4 / 6、5 / 1、5. 25 町内建設業関係社を対象）

③健康と安らぎ事業

■水辺環境や森林空間での遊び、森林浴、ウォーキングなどを通じての、健康と安らぎの場としての活用を推進した。

■取組み内容

◇セラピー、ウォーキングロード整備調査

内容：揖斐川水源地に、「①ウォーキングコース」設定のための調査・検討を実施した。
「揖斐川町と協働」

実施回数等：随時（●6/5、6/11、9/15、9/20、11/9）

3 水源地を活用した調査・研究協力事業

■広大なダム湖、水源地の森林などをフィールドとして活用した大学、企業、県など研究機関が行う調査・研究活動の展開を支援する。

■取組み内容

◇研究機関の調査・研究活動支援

内容：大学、企業、県などの研究所の研究・試験地の提供のための、意向調査・PR活動を実施した。

実施回数等：随時（●4/16 岐阜県森林文化アカデミー、12/22 岐阜県河川環境研究所）

4 治水・利水及び水源地の環境保全の重要性普及啓発事業

①活動を通じた上下流交流、教育交流

■揖斐川上流、下流のNPOや一般住民及び小中学校児童生徒が植樹・間伐、総合学習などの体験活動を通じて、よりよい水源地の環境の創造を推進する。また、水源地のPRや環境活動・体験活動を増進するための人材を育成実施した。

■取組み内容

◇徳山ダム水源見学ツアー

内容：下流域の小学生親子の徳山ダム水源地域の見学や間伐など水源林保全体験会を下流関係市やダム管理者と協働で実施した。

実施回数等：3回（●8/28 44名参加 ●10/25 30名参加
●10/31 9名参加）

◇水と森の感謝祭り

内容：揖斐川町、ダム管理者などと連携して、「水と森の感謝祭」を開催した。

実施回数等：1回（●7/29、31）

◇水源地域のPR

内容：揖斐川町、ダム管理者などと連携して、各種イベントに参加するなど揖斐川水源地域の取り組み等のPR活動を実施した。

実施回数等：随時

「●6/4 ぎふプレゼン（名古屋市）、6/7 名古屋水フェア（名古屋市）

10/24 エコ市参加（名古屋市）●1/24 上下流交流イベント（名古屋市）

◇水源地サポータなど人材育成

内容：水源地域の活動を「みんなで支え・育てる」ためのサポーター（ボランティア）

募集・育成を実施した。

実施回数等：随時

（●H21年3月～募集中（26名登録活動中）

●7/18 川の体験指導者研修会 11名参加、

●11/14、15 水源地防人セミナー 21名参加 ●11/21、22 水源地防人セミナー 17名参加

●12/23、24 冬の森体験指導者研修会 12名参加）



(川の体験学習指導者研修会)



(歩くスキー指導者研修会)

5 自然を活用した水源地域の活性化事業

■揖斐川町、商工会、観光協会、町内の体験交流施設等と連携して、徳山ダムと既存の観光拠点を結ぶネットワークの形成、魅力ある水源地域の観光ツアーを旅行会社などを対象にPR活動を実施した。

■取組み内容

◇グリーンツーリズム推進調査

・拠点施設のネットワークづくり

内容：町内の観光・体験交流施設の情報の一元化・役割分担を進め、緩やかなネットワークづくりを推進するため、「いび川水縁フォーラム（仮称）」設立に向けての交流会に参加し検討を実施した。また、先進地の事例調査を実施した。

実施回数等：随時（22年度に試行を目標に交流・連携を検討）

（交流会 ●2/26 30名参加、

先進地事例調査●2/16神奈川県、2/19長野県、3/2岩手県）

◇観光ツアーの内容PR

内容：町内の観光施設と徳山ダム・揖斐川水源地を活用した体験活動施設等を連携した「観光ツアー」を推進するためのPR活動を実施した。

実施回数等：随時（揖斐川町・観光協会などと連携）

「●6/4ぎふプレゼン（名古屋市）、6/7名古屋水フェア（名古屋市）

10/24エコ市参加（名古屋市）1/24上下流交流イベント（名古屋市）

6 情報収集・発信事業

■徳山ダムや水源地域の治水・利水上の役割、必要性など及び森と水の大切さやおいしい水の源並びに活動センターの活動内容などの情報を発信して上下流交流活動の促進、PRを実施した。

■取組み内容

◇ホームページ等による情報発信

内容：徳山ダムや水源地域の自然、活動センターの体験学習活動などをホームページや情報誌を通じて、情報発信を行った。（<http://www.inochinomizutomori.or.jp>）

実施回数等：常時（●通年：HPによる情報発信、●秋・冬号情報誌掲載2回）

◇水源地遭難対策

内容：水源地への入り込み者が増大していることから、遭難対策について、関係機関との情報交換を実施した。

実施回数等：常時（●4/25、6/25）

◇徳山ダムやダム関連施設の総合案内

内容：水と森の学習館／徳山ダム資料館の利用者に対して、徳山ダムの機能・ダム関連施設、町内観光などの総合案内を実施した。

実施回数等：常時（4／1～3／31）

●水と森の学習／徳山ダム資料館利用者数(3/31 現在)

4月	549名	(男：257名 女：292名)
5月 1,	341名	(男：646名 女：695名)
6月 1,	276名	(男：606名 女：670名)
7月 1,	955名	(男：924名 女：1,031名)
8月 2,	276名	(男：995名 女：1,281名)
9月	842名	(男：381名 女：461名)
10月 2,	240名	(男：972名 女：1,268名)
11月 3,	438名	(男：1,695名 女：1,743名)
12月	234名	(男：189名 女：45名)
1月	81名	(男：60名 女：21名)
2月	199名	(男：155名 女：44名)
3月	202名	(男：109名 女：93名)
累計 14,	633名	(男：6,989名 女：7,644)



(水と森学習館利用状況)

平成21年度 ビジョンの取組状況報告

独立行政法人水資源機構
徳山ダム管理所

徳山ダム 平成21年度 ビジョンの取組状況

施策1 日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全

施策項目 水環境の保全

- ・ダム湖の水質監視……………資料①
- ・ダム湖の流木対策……………資料②
- ・正常流量の確保……………資料③

ダム機能保全のための森林の保全整備

- ・実のなる木を植えよう大作戦……………資料④

施策2 日本一の水と緑に感謝し、学び、やすらぐ場としての活用

施策項目 研修の場の提供

- ・特定外来生物移入防止研修会……………資料⑤

学習の場の提供

- ・森と湖に親しむ旬間・水の週間イベントの実施……………資料⑥

施策3 広域で継続的な交流・連携の推進

施策項目 活動を通じた上下流交流

- ・実のなる木を植えよう大作戦……………資料④

徳山ダム 平成21年度 ビジョンの取組状況

施策4 水源地域の魅力を活用した産業の振興

施策項目 — 観光振興

- ・ 徳山ダム見学ツアー（名阪近鉄バス）……………資料⑦
- ・ 洪水吐きからの放流……………資料⑧

施策5 みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進

施策項目 — 啓発活動の推進

- ・ 森と湖に親しむ旬間・水の週間イベントの実施……………資料⑥
- ・ 徳山ダム見学ツアー（名阪近鉄バス）……………資料⑦

人材育成

- ・ 水源地防人セミナー……………資料⑨

ダム湖の水質監視

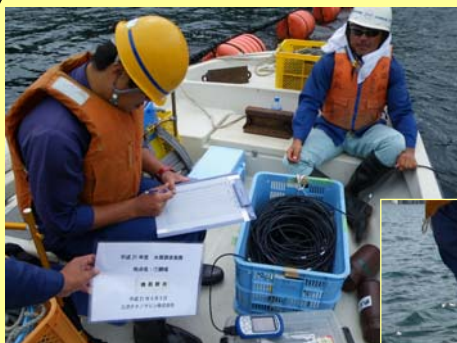
資料①

施策：日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全

施策項目：水環境の保全

具体的施策：ダム湖の水環境の保全に取り組む

調査状況



調査頻度（定期水質調査）

回数	調査日
第1回	平成21年4月27日
第2回	平成21年5月15日
第3回	平成21年6月17日
第4回	平成21年7月8日
第5回	平成21年8月12日
第6回	平成21年9月9日
第7回	平成21年10月18日
第8回	平成21年11月16日
第9回	平成21年12月9日
第10回	平成22年1月21日
第11回	平成22年2月10日
第12回	平成22年3月3日

調査結果（速報値）は、徳山ダムホームページ『現在のダム状況（水質情報）』に掲載

ダム湖の流木対策

施策：日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全

施策項目：水環境の保全

具体的施策：ダム湖の水環境の保全に取り組む

貯水池内の流木塵芥収集状況



洪水吐きゲート越流部
塵芥の集積状況



洪水吐きゲート(上流部)
塵芥の集積前の状況



洪水吐きゲート(上流部)
塵芥の集積状況

平成21年度は、約240m³の塵芥処理を実施

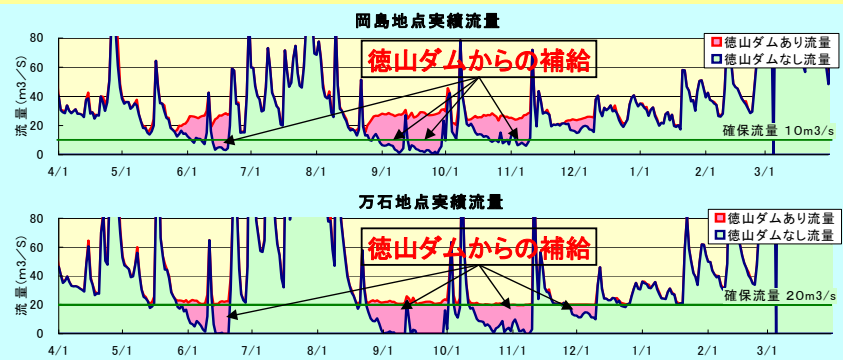
正常流量の確保

(大垣市万石地点で20m³/s、揖斐川町岡島地点で10m³/sを確保します。)

施策：日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全

施策項目：水環境の保全

具体的施策：下流河川における瀬切れ区間の解消を行う



大垣市万石地点で20m³/s、揖斐川町岡島地点で10m³/sを確保するとともに、かんがい用水の取水を可能とするため、河川流量の少ない時は、徳山ダムからの補給を実施しました。

瀬切れの解消

徳山ダムからの補給によりダム下流の平野床橋付近では、断続的に繰り返されていた瀬切れが解消されています。

平野庄橋下流の状況



平成12年9月(徳山ダムがないとき)



平成21年9月(徳山ダムがあるとき)

実のなる木を植えよう大作戦

資料④

施策：日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全
：広域で継続的な交流・連携の推進

施策項目：ダム機能保全のための森林の保全整備
：活動を通じた上下流交流

具体的施策：広葉樹の植樹に取り組む。地域交流を推進する。



植樹場所(コア山)

徳山ダム



植樹した皆さん



中学生・小学生による植樹活動



植樹したコナラの苗木



植樹状況



植樹後は、実のなる木の苗木を育てるため、みんなで種まきをしました。

特定外来生物移入防止研修会

資料⑤

施策：日本一の水と緑に感謝し、学び、やすく場としての活用

施策項目：研修の場の提供

具体的施策：研修等による交流の拡大の為の研修カリキュラムの充実を図る。

実施内容 特定外来生物による生態系等に係わる被害の防止に関する法律で定める特定外来魚類の生態などの研修会を開催し、関係者の知識の向上と移入防止の理解を深めました。

主催 揖斐川町、(財)いびがわ 生命の水と森の活動センター
協力機関 国土交通省 横山ダム工事事務所、岐阜県西濃振興局揖斐事務所
中部電力株式会社 徳山水力建設所・西平土木管理所
水資源機構 徳山ダム管理所



森と湖に親しむ旬間・水の週間イベントの実施

施策：日本一の水と森に感謝し、学び、やすらぐ場として活用
みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進

施策項目：学習の場の提供、啓発活動の推進

具体的施策：豊かな自然環境と地域資源の活用により、効果的な学びの環境づくりを図る。

水源地域の価値や役割の周知、ダム必要性・重要性を理解して頂くための啓発活動を行う。

徳山ダム堤体内（ゲート室）を案内、船舶によるダム周辺湖内の周遊（視察）



実施日：平成21年7月29日、31日、8月3日、5日

参加人数：約660人

徳山ダム見学ツアー（名阪近鉄バス）

施策：水源地域の魅力を活用した産業の振興
みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進

施策項目：観光振興、啓発活動の推進

具体的施策：観光業界との連携のもと、ツアーコースを設定し、観光の振興を図る。

水源地域の価値や役割の周知、ダム必要性・重要性を理解して頂くための啓発活動を行う。

職員による選択取水塔、徳山ダム堤体内（ゲート室）の案内（7月15日～9月30日）



徳山ダム号



選択取水塔内



徳山ダム堤体内(ゲート室)

洪水吐きからの放流

資料⑧

施策：水源地域の魅力を活用した産業の振興

施策項目：観光振興

具体的施策：地域観光資源の一つとして、ダム洪水吐きからの放流を実施する。

常用洪水吐き2門からの放流を実施



**実施日：ゴールデンウィーク 平成21年4月29日、5月2日～5月5日の5日間
お盆休み 平成21年8月13日～8月17日の5日間**

水源地防人セミナー

資料⑨

(平成21年11月14～15日、平成21年11月21～22日)

施策：みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進

施策項目：人材育成

具体的施策：保全や利活用において、様々な取り組みを進めるために、新たな人材の発掘や育成を実施する。

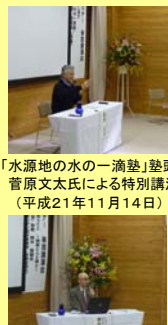
水源地防人セミナーは、水資源の大切さ及び水源地保全の重要性について普及啓発を行うとともに、水源地における森林保全・環境保全活動に参加するサポーターの増加と活動の充実強化を図るため、そのリーダーとなる人材(水源地防人)の育成を目指すものです。

セミナーは2部で構成され、第1部は「水源地の水の一滴塾」塾頭である菅原文太氏、野中晋輔氏による特別講演、第2部として、車座トーク及び野外実習を行いました。特別講演には約130名、車座トーク及び野外実習には約30名の参加がありました。

主催：揖斐川町、財団法人いびがわ(生命の水と森の活動センター)、独立行政法人水資源機構



特別講演



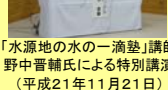
「水源地の水の一滴塾」塾頭
菅原文太氏による特別講演
(平成21年11月14日)



車座トーク



講義



「水源地の水の一滴塾」講師
野中晋輔氏による特別講演
(平成21年11月21日)



野外実習(ブナ林)



野外実習(ブナ林への)移動

平成21年度 水の週間施設見学会 開催報告

開催日	平成21年8月5日(水)
主催	岐阜県、水資源機構中部支社
参加者	岐阜市、池田町、大野町、神戸町、揖斐川町内の文化活動、運動活動の団体に所属する小学生、計35名
概要	<p>毎年8月1日は「水の日」、8月1日から1週間が「水の週間」となっています。</p> <p>平成21年度は、この週間に、岐阜県揖斐川町にある「徳山ダム」の施設見学会を実施しました。参加した小学生の皆さんは、ダム施設見学と、ダム湖周辺での森林学習・自然探索を通じて、水源地域の重要性や、水の大切さ、移転者の方への感謝の気持ちを学びました。</p>



徳山湖前で記念撮影



本郷望郷広場・移転者に感謝



ダム本体上部を見学



ダム堤体内で施設説明

平成 21 年度 木曾三川水源林保全体験の実施状況

名古屋市上下水道局

1. イベントの趣旨

給水区域内在住の方を対象に、本市水源施設周辺の山林（水源林）での間伐作業等の体験を通して、水源林の大切さや森林整備の重要性を理解していただく。

2. 実施内容

- ・ 参加者：給水区域内在住の小学 4～6 年生と保護者 35 名
- ・ 実施日：8 月 28 日（金）
- ・ 場 所：岐阜県揖斐郡揖斐川町 揖斐高原貝月リゾート付近
（社）木曾三川水源造成公社の分収造林地、徳山ダム
- ・ 内 容：のこぎりを使った間伐作業体験、徳山ダムの見学
- ・ 参加費：100 円/人（保険料相当分）
- ・ その他：イベント開催に当たっては、揖斐郡森林組合はじめ（社）木曾三川水源造成公社、生命の水と森の活動センター、水資源機構徳山ダム管理所の方々にご協力いただきました。

3. 行程

時 間	内 容
9:00	市役所発 観光バスにて移動 車中で水源林整備の重要性について説明
11:00	現地着 バスから降りて徒歩で移動
11:15	分収造林地着 間伐作業体験
12:45	分収造林地発 途中、揖斐高原貝月リゾートにて昼食休憩
14:10	徳山ダム着 ダム見学
15:30	徳山ダム発
17:50	市役所着

4. 間伐作業体験の内容

- ・ 参加者の方を 5 つのグループに分けて作業を実施（各グループに 1 名、指導員として森林組合員の方についていただく）
- ・ 親子 3～4 組でノコギリを使って順番に木を切り倒す
- ・ 森林組合員の方のチェーンソーによる間伐作業を見学

5. 22 年度の予定（21 年度とほぼ同様の内容）

- ・ 日時：平成 22 年 8 月 24 日（火）
- ・ 場所：岐阜県揖斐郡揖斐川町地内 徳山ダム近辺
- ・ 人数：給水区域内在住の小学 4～6 年生と保護者 20 組 40 名

り 植樹・保育（下刈など）を NPO 揖斐自然環境レンジャーなどと協働して実施。名称：徳山ダム上流に実のなる木を植えよう大作戦
1回：下刈・獣害防止ネット設置「●7/10 参加93名、秋：植栽実施」



(コア山の下刈)



(コア山の獣害防止保護カバー設置)

○水源地域森林調査

内容：植栽場所等荒廃森林の現況調査実施
実施回数等：随時（「○8月～ 予定」）

○水源地域に「実のなる木」を植えよう活動

内容：NPO団体などと連携して、揖斐川水源地域全体に、トチノキ、ナラ、クリ、ブナなど野生動物の餌となる「実のなる木を植えよう活動」を行い、生物多様性豊かな森林づくりに努めるため、実のなる木の苗木提供、各種イベントでの普及啓発の実施。
実施回数など：随時（「●4/29～5/3、●6/12実のなる苗木展示・販売、PR活動」）

○苗木のホームステイ・植樹活動

内容：揖斐川水源地域の「木の実」を播種して発芽した「実のなる木」の小苗を、下流域の小中学生に預けて育成してもらい、大きく育った苗木を水源地域に植栽をしよう。

実施回数等：3校（春：植え付け活動「●4/22北方小、4/26北和中、5/10久瀬小」、秋：植樹活動）



(苗木育成用プランナーBOXづくり)



(苗木の定植作業)

○企業とNPO等が協働した森林づくりの支援

内容：イビデン株式会社、揖斐川町、岐阜県、NPO揖斐自然環境レンジャー、地元住民などが協働して行う、地球環境保全のための「イビデンの森」づくり活動を支援する。
実施回数等：4回（「●植栽4／10参加167名、●枝打ち等4／23●参加30名」、
●6／5 イビデン森づくりPR活動○下刈9月予定、○森林学習会11月予定）



（植 樹）



（枝打ち）

③自然生態系の保全事業

■水源地の自然生態系を保全するため、ブラックバス等特定外来生物による生態系に係る被害の防止に関する法律（以下「外来生物法」という。）で定める規制種の移入・防除を図るため次の取り組みを行う。

■取り組み内容

○特定外来生物移入防止研修会の開催

内容：外来生物法で定める、特定外来魚の移入を、流域の関係団体や住民「みんな」で防止する意識の醸成とその知識の向上を図るための研修会を行う。

実施回数等：1回（流域住民、ダム管理関係者など ○12月予定）

○観光客などに対するPR活動

内容：特定外来生物移入防止のため、リーフレット・HPなどを通じたPR活動を行う。

実施回数等：随時（「●6／6、●7／28、7／29PR活動」）

(2) 自然環境保全教育・研修事業

①体験学習事業

■徳山ダム周辺の優れた自然環境を活用して、小中学校児童生徒などを対象とした「命の水・自然生態系・野生生物・森林など」体験学習を通じて、水源地の重要性、自然生態系の大切さなどを広く普及するため次の取り組みを行う。

■取り組み内容

○活動センター主催の体験活動

内 容：活動センターが主催した自然体験学習を実施する。

実施回数： 14回

内 訳：森林作業体験 2回

（NPOと共催「● 7／10下刈93名参加、○秋：植樹予定）

炭焼き体験 1回（○予定：11月予定）

森とのふれあい体験

巨樹巡り（1回 揖斐川水源地見学ツアーと併催「8／8予定」）

水とのふれあい体験

川遊び 1回（●7／31 19名参加）

雪とのふれあい

雪あそび 5回（予定：1月クロスカントリスキーなど）
 ものづくり体験
 木エクラフト 1回（〇8／15予定）
 ファミリーキャンプ 2回（〇8／14／15予定、〇11月予定）
 環境学習
 ダム機能学習教室（1回揖斐川水源地域見学ツアーと併催「〇8／8予定」）

○小中学校等体験学習支援

内容：ふじはし星の家宿泊者等の自然体験学習を支援する。

実施回数等：随時（「●4／10～ 町内外の小中学校、子供会など78団体
 2,760名体験活動の支援」）



（森林学習）



（登山）



（オリエンテーリング）



（クラフト）



（川遊び）



（沢アザミ「オヤキ」づくり）

○登山道標識整備（花房山）

内容：小中学校児童生徒を杉原山を経て、徳山ダムが一望できる花房山（標高1,190m）へ至る登山活動を実施するため、登山道改修・標識などの整備をする。

実施回数等：随時

（● 4/21,5/4 ~ 5/6,5/15,6/2）



○体験活動機械器具・施設整備

内容：体験学習に必要な野営テント、ライフジャケット、木エクラフト工具、歩くスキー（クロスカンリースキ）、野鳥観察など機械器具を順次整備する。

実施回数等：22年度活動に必要なものを順次整備していく

○体験学習のためのテキスト等整備

内容：体験学習に必要な図書・テキスト・DVDの購入する。

実施回数等：随時

○水と森の学習館PR活動

内容：水と森の学習館（徳山ダム資料館）を広く下流域住民に理解を得るため、各種イベントなどに参加して、PR活動を実施する。

実施回数等：随時（各種イベントなど参加して、PR活動を実施する

「● 4/25,4/29 ~ 5/5,6/5,6/6,6/12,7/28,7/29」

○水源地の水の一滴塾活動支援

内容：水源地の水の一滴塾（H19.3 設立 塾頭菅原文太氏）が揖斐川水源地域などで行う環境学習活動等の支援をする。

実施回数等：随時（○11月予定）

○徳山ダム見学会

内容：団体が「水と森の学習館」、「徳山ダム」でのダム機能・環境保全への取組み、徳山ダム学習等を行う場合に支援をする。

実施回数等：随時（事前申込者対象「● 4 / 14 ~ 」）

●徳山ダム現地見学案内者数（7 / 31 現在）

4月	8団体	306名	（男：169名 女：137名）
5月	14団体	489名	（男：168名 女：321名）
6月	22団体	781名	（男：429名 女：352名）
7月	30団体	815名	（男：360名 女：455名）
累計	74団体	2,391名	（男：1,126名 女：1,265名）



（徳山ダム見学案内）

○エコツアー－現地調査

内容：豊かな自然環境と地域資源の活用による「学びの場」の環境づくりのため、源流の溪流や天然林をガイド付きで案内する「び川徳山源流の森観察ツアー」の実現に向けて、調査・検討を実施する。

実施回数等：随時（24年に試行を目標に調査・検討の実施）

「○8月7～8日、以後12月の間に調査、検討予定」

②研修促進事業

■広く三県一市の経済界を含めた諸団体との連携のもと、豊かな自然景観を活用して、環境・水・森を軸に据えた研修の場としての活用を促進していく。

■取組み内容

○企業等の活用促進調査

・企業等訪問調査

内容：徳山ダムを核とした豊かな自然環境を活用して、環境・水・森を軸とした企業研修を促進するための調査・検討を実施する。

実施回数等：随時（研修の場としての活用を推進するためカリキュラム・実態調査・PR「○12月予定」）

③健康と安らぎ事業

■水辺環境や森林空間での遊び、森林浴、ウォーキングなどを通じての、健康と安らぎの場としての活用を推進する。

■取組み内容

○セラピー、ウォーキングロード整備調査

内容：揖斐川水源地に、「ウォーキングコース」設定のための調査・検討を行う。

実施回数等：随時（「○8月～12月予定」）

(3) 水源地を活用した調査・研究協力事業

■広大なダム湖、水源地の森林などをフィールドとして活用した大学、企業、県など研究機関が行う調査・研究活動の展開を支援する。

■取組み内容

○研究機関の調査・研究活動支援

内容：大学、企業、県などの研究所の研究・試験地の提供のための、意向調査・PR活動を実施する。

実施回数等：随時（大学など訪問情報提供「○12月予定」）

(4) 治水・利水及び水源地の環境保全の重要性普及啓発事業

①活動を通じた上下流交流、教育交流

■揖斐川上流、下流のNPOや一般住民及び小中学校児童生徒が植樹・間伐、総合学習などの体験活動を通じて、よりよい水源地の環境の創造を推進する。また、水源地のPRや環境活動・体験活動を増進するための人材を育成する。

■取組み内容

○徳山ダム水源見学ツアー

内容：下流域の小学生親子の徳山ダム水源地域の見学や間伐など水源林保全体験会を下流関係市やダム管理者等と共催する。（「○8/8、8/24予定」）

実施回数等：2回（「○8/8、8/24予定」）

○水と森の感謝祭り

内容：揖斐川町、ダム管理者などと連携して、「水と森の感謝祭」を開催する。

実施回数等：1回（「●7/28、29 50名参加」）

○水源地域のPR

内容：揖斐川町、ダム管理者などと連携して、各種イベントに参加するなど揖斐川水源

地域の取り組み等のPR活動を行う。

実施回数等：随時（「●4/25,4/29～5/5,6/5,6/6,6/12 7/28,7/29」）

○水源地サポーターなど人材育成

内容：水源地地域の活動を「みんなで支え・育てる」ためのボランティア（水源地域サポーター）を募集・育成を行う。

実施回数等：随時（募集、養成研修●水源地域30名登録）

(5) 自然を活用した水源地域の活性化事業

■揖斐川町、商工会、観光協会、町内の体験交流施設等と連携して、徳山ダムと既存の観光拠点を結ぶネットワークの形成、魅力ある水源地域の観光ツアーを旅行会社などを対象にPR活動を行う。

■取り組み内容

○拠点施設のネットワークづくり

内容：町内の観光・体験交流施設の情報の一元化・役割分担を進め、緩やかなネットワークづくりを推進するため、「いび川水縁フォーラム（仮称）」を組織し、モザイク的プロジェクトを展開していく。

実施回数等：随時（23年度に活動の試行を目標に組織・推進体制などの検討を実施「○8月～予定」）

○観光ツアーの内容PR

内容：町内の観光施設と徳山ダム・揖斐川水源地を活用した体験活動と連携した「観光ツアー」を推進するためのPR活動を行う。

実施回数等：随時（揖斐川町・観光協会などと連携

「●5/30国土交通省2010水の里旅コンテスト 特別賞受賞 現在、全国旅行業協会・（株）全旅・日本観光協会の協力を得てプロモーション活動中）

(6) 情報収集・発信事業

■徳山ダムや水源地域の治水・利水上の役割、必要性など及び森と水の大切さやおいしい水の源並びに活動センターの活動内容などの情報を発信して上下流交流活動の促進、PRを図る。

■取り組み内容

○ホームページ等による情報発信

内容：徳山ダムや水源地域の自然、活動センターの体験学習活動などをホームページや会報を通じて、情報発信を行う。（<http://www.inochinomizutomori.or.jp>）

実施回数等：常時（「●4/1～」）

○水源地遭難対策

内容：水源地域への入り込み者が増大していることから、遭難対策について、関係機関との情報交換を行う。

実施回数等：随時（○9月予定）

○徳山ダムやダム関連施設の総合案内

内容：水と森の学習館／徳山ダム資料館の利用者に対して、徳山ダムの機能・ダム関連施設、町内観光などの総合案内を行う。

実施回数等：常時（●「4/1～」）

●水と森の学習館／徳山ダム資料館利用者数(7/31 現在)

4月	719名	(男: 445名 女: 274名)
5月 1,	177名	(男: 611名 女: 566名)
6月 1,	379名	(男: 734名 女: 645名)
7月 1,	459名	(男: 695名 女: 764名)
累計	4,734名	(男: 2,485名 女: 2,249名)



(水と森の学習館利用状況)

平成22年度 ビジョンの取組予定

独立行政法人水資源機構
徳山ダム管理所

徳山ダム 平成22年度 ビジョンの取組予定

施策1 日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全

- 施策項目
- 水環境の保全
 - ・ダム湖の水質監視……………資料Ⅰ
 - ダム機能保全のための森林の保全整備
 - ・実のなる木を植えよう大作戦……………資料Ⅱ

施策2 日本一の水と緑に感謝し、学び、やすらぐ場としての活用

- 施策項目 — 学習の場の提供
- ・森と湖に親しむ旬間・水の週間イベントの実施…資料Ⅲ

施策3 広域で継続的な交流・連携の推進

- 施策項目 — 活動を通じた上下流交流
- ・実のなる木を植えよう大作戦……………資料Ⅱ

徳山ダム 平成22年度 ビジョンの取組予定

施策4 水源地域の魅力を活用した産業の振興

施策項目 — 観光振興

- ・徳山ダム見学ツアー（名阪近鉄バス）……………資料Ⅳ
- ・洪水吐きからの放流……………資料Ⅴ

施策5 みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進

施策項目 — 啓発活動の推進

- ・森と湖に親しむ旬間・水の週間イベントの実施…資料Ⅲ
- ・徳山ダム見学ツアー（名阪近鉄バス）……………資料Ⅳ

ダム湖の水質監視

資料Ⅰ

施策：日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全

施策項目：水環境の保全

具体的施策：ダム湖の水環境の保全に取り組む

調査状況

写真添付

写真添付

調査頻度（定期水質調査）

資料添付

調査結果（速報値）は、徳山ダムホームページ『現在のダム状況（水質情報）』に掲載

実のなる木を植えよう大作戦

資料Ⅱ

施策：日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全
：広域で継続的な交流・連携の推進

施策項目：ダム機能保全のための森林の保全整備
：活動を通じた上下流交流

具体的施策：広葉樹の植樹に取り組む。地域交流を推進する。



活動内容：揖斐川水源地域全体にトチノキ、ナラ、クリ、ブナなどの野生動物の餌となる「実のなる木」を植樹し、その下草刈りや保育作業を通して山の仕事を体験するとともに、生物多様性豊かな森林づくりに努める。

実施日： 下草刈り 平成22年7月10日
実のなる木を植えよう大作戦 平成22年11月予定

主催： NPO揖斐自然環境レンジャー、揖斐川中部漁協協同組合
財団法人 いびがわ 生命の水と森の活動センター
協力機関： 岐阜県、揖斐川町、(独)水資源機構

資料Ⅲ

森と湖に親しむ旬間・水の週間イベント実施

施策：日本一の水と森に感謝し、学び、やすらぎ場として活用
みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進

施策項目：学習の場の提供、啓発活動の推進

具体的施策：豊かな自然環境と地域資源の活用により、効果的な学びの環境づくりを図る。

水源地域の価値や役割の周知、ダムの必要性・重要性を理解して頂くための啓発活動を行う。

徳山ダム堤体内（ゲート室・監査廊）の案内、ダム湖上観察会及び水質調査



堤体内案内(ゲート室)



湖上観察会(丸山船着場発)



簡易水質検査 体験(pH, COD)

実施日：平成22年7月28、8月2日(湖上観察会)、7月30日、8月4日(堤体内案内)

参加人数：約●●●人

徳山ダム見学ツアー（名阪近鉄バス）

資料IV

施策：水源地域の魅力を活用した産業の振興
みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進

施策項目：観光振興、啓発活動の推進

具体的施策：観光業界との連携のもと、ツアーコースを設定し、観光の振興を図る。
水源地域の価値や役割の周知、ダムの必要性・重要性を理解して頂くための啓発活動を行う。

職員による徳山ダム堤体内（ゲート室・監査廊）の案内（7月～9月）



徳山ダム号



ダム号車内での説明



徳山ダム堤体内（ゲート室）

洪水吐きからの放流

資料V

施策：水源地域の魅力を活用した産業の振興

施策項目：観光振興

具体的施策：地域観光資源の一つとして、ダム洪水吐きからの放流を実施する。

常用洪水吐き2門からの放流を実施



実施日：ゴールデンウィーク 平成22年4月29日～5月3日の5日間
お盆休み 平成22年8月13日～8月16日の4日間
秋期 平成22年 秋 実施予定

横山ダム<2010森と湖に親しむ旬間>

横山ダムは木曾川水系揖斐川の上流に位置し、治水、発電利水の目的でS39年に完成した中空重力式コンクリートダムで、ダム内部が空間となっている珍しいダムです。

毎年7月21日～31日の間の「森と湖に親しむ旬間」に於いて、我が国でも13ダムしかないこの中空ダムの内部空間を利用したイベントを実施しています。

今年度は7月25日にイベントを実施し、「夏休みの自由研究を意識したイベント」のほか、今年度完成予定の横山ダム再開発事業に関する「再開発事業パネル展示」を実施し、約110人の皆様に来場して頂きました。

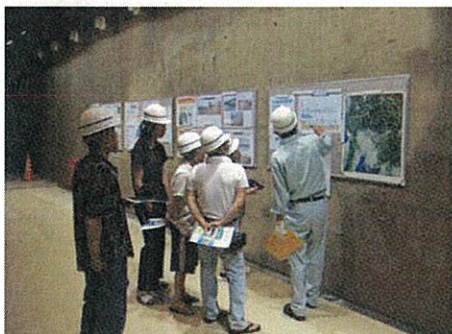
また、7月22日に「アマゴの放流体験」を、藤橋城の環境護岸で実施し、来場みなさんにアマゴの放流を体験していただきました。



中空重力式コンクリートダムの内部空間

<夏休みの自由研究を意識したイベント>

夏休みの宿題のひとつとして提供出来るよう、「各種実験を記録するための用紙」をお配りし、「ダム内部の温度の違い」や、「ハンドベルによる音響の体験」及び「流木による工作体験」をして頂き、出来るだけ子供たちがダムに関心を持てるよう実施しました。



ダム見学の様子



各種実験を記録するための用紙



流木による工作体験の状況



ハンドベルによる音響の体験

<再開発事業パネル展示>



再開発事業パネル展示の様子

横山ダム事務所玄関にて「再開発事業パネル展示」し、イベント来られた皆様に横山ダム再開発事業についてご説明させて頂き、より理解を深めて頂きました。



シミュレーションによる
新横山橋を渡ってみよう体験

また、完成予定の「新横山橋」について、シミュレーションにより「新横山橋を渡ってみよう！」を体験して頂きました。

<アマゴの放流体験>




環境護岸にてアマゴの放流をしている様子

7月22日には、藤橋城付近の揖斐川沿いにある環境護岸において、地元の子供たちの他、来場みなさんにアマゴの放流を体験していただきました。

横山ダムから見る事ができる近くに建設中の新横山橋(仮称)です。

国道417号側の橋桁が橋台と接続することに併せて、5月26日、30日に地元の小中高校生(揖斐川町坂内地区、藤橋地区)の参加による工事見学会を実施しました。

見学会では新横山橋(仮称)の勉強と橋桁内部で寄せ書きを行いました。普段見ることができない橋の内部に入り、地域に架かる橋の学習や思い出に残る体験をすることで、完成後の橋に愛着を持ってもらえるよう願っています。



この位置の内部にある
逆台形の空間で寄せ
書きを行いました

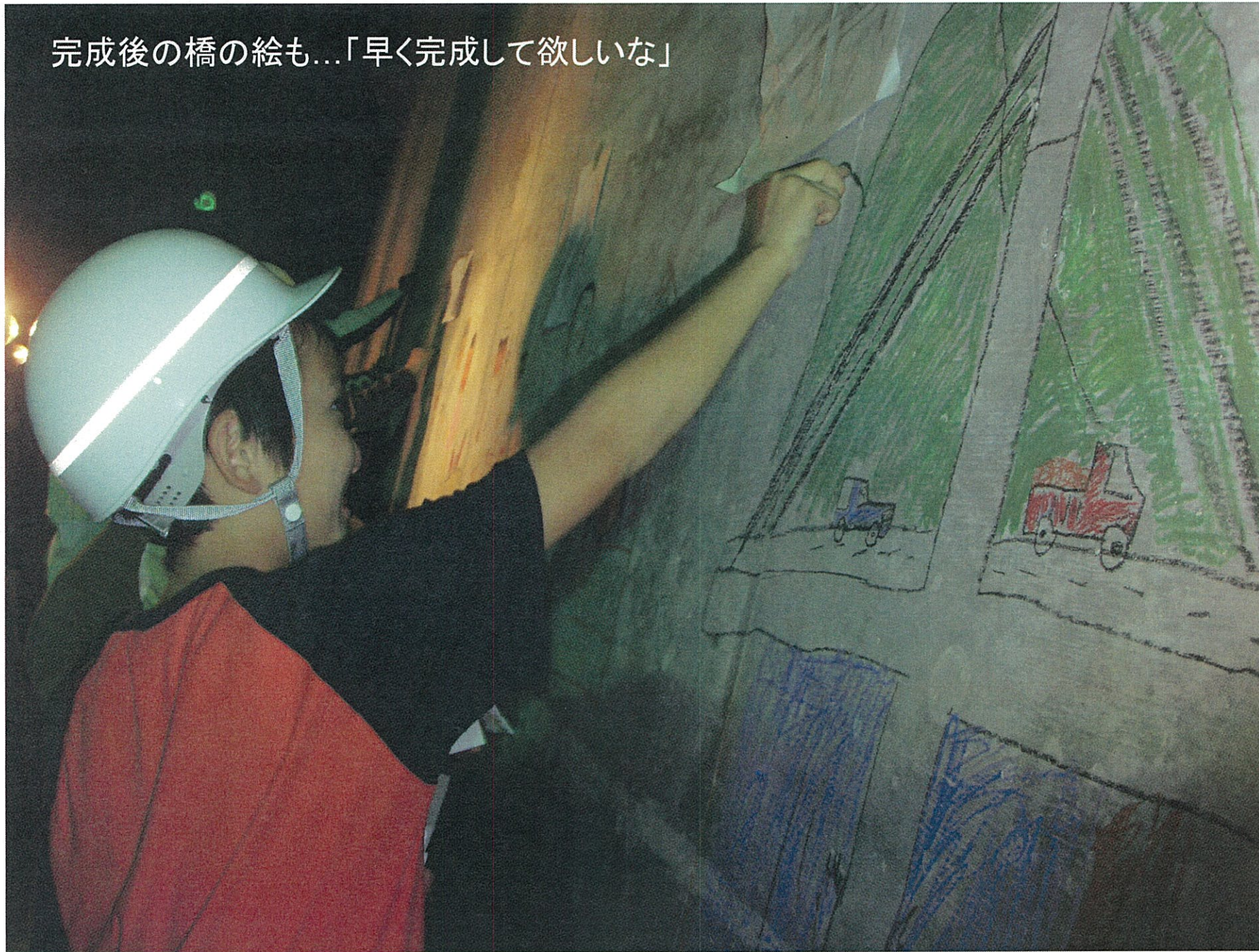
橋の上で記念撮影...「テーマは”未来への贈り物”」



いよいよ寄せ書き開始！



完成後の橋の絵も...「早く完成して欲しいな」



揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の今後の活動計画について

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	
施策項目	
具体の施策	
団体名等	
実施時期	
内 容	

揖斐川水源地域ビジョンについて

揖斐川水源地域の将来像(目標像)	
	日本のどまん中を支える日本一の水と森が織りなす流域文化の創造 － みんなで守り、学び、やすらぐ、日本一元気な流域を目指して －
目標像を実現するための3つの基本方針	
	(1) 揖斐の防人・中部の水瓶としての上流域の環境を、みんなで守り育てる (2) 自然の叡智や風土など水源地域そのものを「水と森の自然博物館」として、学び、やすらぐ (3) 流域ぐるみで協働し、流域文化の創造と展開を図る
基本方針を踏まえた5つの取組方針と主な方向	
施 策	(1) 日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全
施策項目	①水環境の保全 ②ダム機能保全のための森林の保全整備 ③自然生態系の保全 ④環境調査
施 策	(2) 日本一の水と森に学び、やすらぐ場としての活用
施策項目	⑤学習の場の提供 ⑥研修の場の提供 ⑦健康づくりと安らぎの場の提供
施 策	(3) 広域で継続的な交流・連携の推進
施策項目	⑧活動を通じた上下流交流 ⑨教育交流の推進 ⑩県境を越えた広域連携
施 策	(4) 水源地域の魅力を活用した産業の振興
施策項目	⑪観光振興 ⑫新たな産業の振興
施 策	(5) みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進
施策項目	⑬情報発信 ⑭人材育成 ⑮啓発活動の推進 ⑯危機管理 ⑰交流の場づくり

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体及び関係自治体の今後の活動計画について

(記載例)

施策	(2) 日本一の水と森に学び、やすらぎ場としての活用
施策項目	⑤学習の場の提供
具体の施策	豊かな自然環境と地域資源の活用により、効果的な学びの環境作りを図る
団体名等	独立行政法人水資源機構 徳山ダム管理所
実施時期	平成22年7月
内 容	北方小学校児童にパックテストを用いた水質調査を体験していただくと共に、徳山ダム見学者にゲート室及び操作室等への案内を実施する予定。 また、北方小学校児童と魚類調査を実施する予定。

揖斐川水源地域ビジョン実施状況(とりまとめイメージ)

施策及び施策項目		主催または協力機関	具体の施策
施策	(1) 日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全		
施策項目	①水環境の保全	水資源機構徳山ダム管理所 水資源機構徳山ダム管理所	ダム湖の水環境の保全に取り組む(ダム湖の流木対策・水質監視) 下流河川へにおける瀬切れ区間の解消を行う(正常流量の確保)
	②ダム機能保全のための森林の保全整備	NPO揖斐自然環境レンジャー 揖斐川中部漁業共同組合、水資源機構徳山ダム管理所、生命と水と森の活動センター、揖斐川町、岐阜県	広葉樹の植樹、保育に取り組む。地域交流を推進する。(実のなる木を植えよう大作戦)
	③自然生態系の保全	水資源機構徳山ダム管理所	外来種の防除対策に取り組む(外来種移植(密放流)の禁止看板設置)
	④環境調査		
施策	(2) 日本一の水と森に学び、やすらぐ場としての活用		
施策項目	⑤学習の場の提供	水資源機構徳山ダム管理所	豊かな自然環境と地域資源の活用により、効果的な学びの環境づくりを図る。(水の週間イベント)
	⑥研修の場の提供	揖斐川町、生命と水と森の活動センター、国土交通省横山ダム工事事務所、水資源機構徳山ダム管理所	研修等による交流の拡大のための研修カリキュラムの充実を図る。(特定外生物移入防止研修会)
	⑦健康づくりと安らぎの場の提供		
施策	(3) 広域で継続的な交流・連携の推進		
施策項目	⑧活動を通じた上下流交流		
	⑨教育交流の推進		
	⑩県境を越えた広域連携		
施策	(4) 水源地域の魅力を活用した産業の振興		
施策項目	⑪観光振興		
	⑫新たな産業の振興		
施策	(5) みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進		
施策項目	⑬情報発信	水資源機構徳山ダム管理所	保全・利活用に関する積極的な情報発信を行う。(徳山ダムみどころマップ)
	⑭人材育成		
	⑮啓発活動の推進		
	⑯危機管理		
	⑰交流の場づくり		

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会 規約

(名称)

第1条 本会は、「揖斐川水源地域ビジョン推進協議会」（以下「協議会」という）と称する。

(目的)

第2条 協議会は、揖斐川水源地域ビジョンに基づき、徳山ダム上流域を核とする揖斐川水源地域を流域全体の貴重な財産と位置づけ、水源地域だけではなく、治水・利水の恩恵が及ぶ広域の人達が参画し、揖斐川水源地域の豊かな自然環境を保全するとともに、適切なダム管理との整合を図りながら、広大な自然環境、地域の伝統文化、多様な観光資源等の積極的な利活用を図るため、流域住民、NPO 法人や企業等の各種団体、関係行政機関、水源地域自治体、ダム事業者等が一体となって、個々の役割を果たすとともに、相互の連携・協力の下、ビジョンの着実な推進を図り、もって水源地域の自立的、持続的な活性化に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 協議会は、以下の項目について実施するものとする。

- (1) ビジョンに位置付けた施策の実施状況の確認
- (2) 着実かつ効率的なビジョン推進のための協議・調整
- (3) 生命の水と森の活動センターの事業内容に関する確認や助言・指導及び活動協力
- (4) その他目的を達成するために必要な事項

(組織等)

第4条 協議会は、別表に掲げる委員をもって構成する。但し、協議会の中で了解を得たうえで、運営上必要な委員の増減を図ることができる。

- 2 組織の改編等により委員の組織及び職名等が変更となった場合は、組織及び職名等を新たな組織及び職名等に読み替え、その職に就いた者が、協議会の委員を継承する。

(協議会の招集及び成立)

第5条 協議会は、事務局がこれを招集し、揖斐川町長が議長を務める。

2 協議会は、委員の過半数の出席を持って成立する。

3 委員がやむを得ない事由により会議に出席できないときは、代理人を出席させることができる。

(協議会の開催)

第6条 協議会は、原則として年1回開催する。その他、必要に応じて適宜開催することができる。

(公開)

第7条 協議会は、原則として公開とする。

2 ただし、議長が必要と認めた場合には非公開とすることができる。

(事務局)

第8条 協議会の事務局は、揖斐川町に置くこととし、事務局の運営に関し必要な事項については、独立行政法人 水資源機構 徳山ダム管理所が協力して実施するものとする。

(雑則)

第9条 本規約に定めのない事項については、協議会において別途定める。

付則

この規約は、平成20年2月13日から施行する。

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員一覧

分類	区分	所属・役職
各種団体	関連地元事業者	揖斐郡森林組合 組合長
		財団法人いびがわ 理事長
	関連団体	NPO揖斐自然環境レンジャー 理事長
		西美濃広域観光推進協議会 事務局長
		大垣商工会議所 交流産業委員長
		揖斐川町商工会 事務局長
	関連企業	中部電力(株) 岐阜電力センター所長
		イビデン(株) エネルギー統括部 部長
関係行政機関	国土交通省	中部地方整備局 河川部 河川保全管理官
		中部地方整備局 木曾川上流河川事務所長
		中部地方整備局 横山ダム工事事務所長
	林野庁	中部森林管理局 岐阜森林管理署 次長
	関係地方公共団体	岐阜県県土整備部 河川課長
		西濃振興局 揖斐事務所長
		揖斐土木事務所長
		揖斐農林事務所長
		愛知県地域振興部 土地水資源課長
		三重県政策部 土地・資源室長
		名古屋市上下水道局技術本部 水道計画課 主幹
	流域市町代表	大垣市 技監
	水源地域自治体	揖斐川町長
ダム事業者	水資源機構 中部支社 管理部 施設課長	
	水資源機構 徳山ダム管理所長	